

注3

大学番号：私026

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

常磐大学 看護学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人常磐大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	トウカツ オオ ツキ ユキ ノリ 統括 大 槻 行 徳
電話番号	029-232-2517
（夜間）	029-232-2517
F A X	029-231-6078
e-mail	soumu@tokiwa.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人常磐大学

(2) 大学名

常磐大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430番地の1
〒311-3193 茨城県東茨城郡茨城町桜の郷280番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(モリ セイイチ) 森 征一 (平成26年11月)	(オビツ シゲヒデ) 小櫃 重秀 (平成31年4月)	任期満了に伴う変更 平成31年4月1日 (元)
学長	(トミタ ノブホ) 富田 信穂 (平成27年4月)	(トミタ ケイコ) 富田 敬子 (平成31年4月)	任期満了に伴う変更 平成31年4月1日 (元)
学部長	(ムライ フミエ) 村井 文江 (平成30年4月)		
学科長等	(ムライ フミエ) 村井 文江 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	4年	80人	年次-	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80人 () []	- () []	80人 () []	- () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.17倍	-	
志願者数	177 () []	- () []	197 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	174 () []	- () []	193 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	135 () []	- () []	130 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	95 () []	- () []	93 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.18		1.16								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	95 (-) [-]	- (-) [-]	93 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2年次	/		87 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/						/		[] ()
計			95 (-) [-]		180 [-] (-)				[] ()

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	95 人	8 人	平成30年度	8 人	0 人	就職(2人)、他の教育機関への入学(3人)、 就学意欲の低下(1人)、経済的理由(1人)、除籍(1人)
令和元年度	180 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
平成2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		8 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{95} = \boxed{8.42} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{180} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

Table with columns for subject classification, subject name, credits (必, 選, 自), and staff roles (教, 准, 講, 助, 助, 兼). Includes sub-sections for '看護の基盤', '生涯発達と看護', 'コミュニケーションと看護', '看護の統合と発展', and '教職関連科目'.

Table with columns for subject classification, subject name, credits (必, 選, 自), and staff roles (教, 准, 講, 助, 助, 兼). Includes sub-sections for '看護の基盤', '生涯発達と看護', 'コミュニケーションと看護', '看護の統合と発展', and '教職関連科目'.

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	哲学・倫理学	1・2前・後		2								1
	人間と宗教	1・2前・後		2								4
	文学	1・2前・後		2								2
	心理学	1・2前・後		2								1
	思想史	1・2前・後		2								2
	歴史学	1・2前・後		2								4
	地理学	1・2前・後		2								1
	言語文化論	1・2前・後		2								1
	法学	1・2前・後		2								1
	日本国憲法	1・2前・後		2								1
	経済学	1・2前・後		2								4
	政治学	1・2前・後		2								1
	社会学	1・2前・後		2								1
	地域社会論	1・2前・後		2								4
	文化論	1・2前・後		2								4
	著作権と情報倫理	1・2前・後		2								2
	生態学	1・2前・後		2								1
	物質とエネルギー	1・2前・後		2								2
	生活と化学	1・2前・後		2								1
	宇宙の科学	1・2前・後		2								1
	科学技術論	1・2前・後		2								1
	科学史	1・2前・後		2								1
	生理学	1・2前・後		2								1
	心の科学	1・2前・後		2								2
	生命倫理	1前	2									1
	生命の科学	1・2前・後		2								2
	食と健康(未開講)	1・2前・後		2								1
	情報の科学	1・2前・後		2								1
	情報化と社会	1・2前・後		2								1
	数学(未開講)	1・2前・後		2								1
パズルと論理	1・2前・後		2								2	
ウェブデザイン基礎演習	1・2前・後		2								1	
グラフィックデザイン基礎演習	1・2前・後		2								1	
文献講読	1・2前・後		2								2	
日本語表現演習	1・2前・後		2								3	
ディベート	1・2前・後		2								1	
伝統文化論	1・2前・後		2								1	
創作文化演習	1・2前・後		2								1	
芸術鑑賞論	1・2前・後		2								1	
身体運動の原理	1・2前・後		2								1	
健康スポーツA	1・2前・後		1								1	
健康スポーツB	1・2前・後		1								1	
英語 I	1前	2									3	
英語 II	1後	2									3	
英語 III	2前	2									3	
英語 IV	2後	2									3	
英語 V	2前	2									1	
英語 VI	2後	2									1	
上級英語 I	1・2前・後		2								4	
上級英語 II	1・2前・後		2								5	
上級英語 III	1・2前・後		2								3	
上級英語 IV	1・2前・後		2								3	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	中国語 I	1・2前・後		2								1
	中国語 II	1・2前・後		2								1
	中国語 III	3・4前・後		2								1
	中国語 IV	3・4前・後		2								1
	韓国・朝鮮語 I	1・2前・後		2								1
	韓国・朝鮮語 II	1・2前・後		2								1
	韓国・朝鮮語 III	3・4前・後		2								1
	韓国・朝鮮語 IV	3・4前・後		2								1
	ドイツ語 I	1・2前・後		2								1
	ドイツ語 II	1・2前・後		2								1
	ドイツ語 III	3・4前・後		2								1
	ドイツ語 IV	3・4前・後		2								1
	フランス語 I	1・2前・後		2								1
	フランス語 II	1・2前・後		2								1
	フランス語 III	3・4前・後		2								1
	フランス語 IV	3・4前・後		2								1
	スペイン語 I	1・2前・後		2								1
	スペイン語 II	1・2前・後		2								1
	スペイン語 III	3・4前・後		2								1
	スペイン語 IV	3・4前・後		2								1
	日本語 I	1・2・3・4前・後		2								1
	日本語 II	1・2・3・4前・後		2								1
	日本語 III	1・2・3・4前・後		2								1
	日本語 IV	1・2・3・4前・後		2								1
	日本語 V	1・2・3・4前・後		2								1
	日本語 VI	1・2・3・4前・後		2								1
	日本語 VII	1・2・3・4前・後		2								1
	日本語 VIII	1・2・3・4前・後		2								1
全学基本科目	学びの技法 I	1前	2									2
	学びの技法 II	1後	2									2
	統計の基礎	1後	2									1
	情報の処理	1前	2									2
キャリア科目	キャリア形成と大学	1後	2									1
	キャリア形成と産業社会	2前・後	2									1
	キャリア演習 I	2前・後	2									1
	キャリア演習 II	3前・後	2									1
	インターンシップ	2・3・4前・後	2									4
特別企画科目	プロジェクトA	1・2・3・4前・後	4									3
	プロジェクトB	2・3・4前・後	4									3
	プロジェクトC(未開講)	1・2・3・4前・後	2									2
	海外研修A	1・2・3・4前・後	2									11
	海外研修B	1・2・3・4前・後	2									11
	海外研修C	1・2・3・4前・後	2									11
	小計 (95科目)	—	20	172	0	0	0	0	0	0	0	58
学科学分野	人間の身体と生命科学分野											
	人体の構造と機能 I	1前	2									8
	人体の構造と機能 II	1前	3									8
	人体の構造と機能 III	4前	1									4
	臨床栄養学	1後	1									1
	食物栄養演習	1後	1									2
	感染と免疫	1後	2									8
	臨床薬理学	2前	2									1
	遺伝と健康	4前	1		1							1
	臨床病理学	2前	1									1
	疾病と治療論 I	2前	2									5
	疾病と治療論 II	2前	2									4
	疾病と治療論 III	2前	2									4
	疾病と治療論 IV	2後	2									1
小計 (13科目)	—	20	2	0	1	0	0	0	0	0	24	
学科学分野	人間の心と行動科学分野											
	生涯人間発達心理	1後	1			1						1
	臨床心理学	2後	1									1
	人間関係論	1後	1									1
	カウンセリング論	3前	1									1
	健康行動とヘルスプロモーション	1後	1				1		3			2
	医療問題解決方法	2前	1					1				1
小計 (6科目)	—	4	2	0	1	1	1	3	0	0	6	
学科学分野	人間の社会と環境科学分野											
	公衆衛生学	1後	1									1
	疫学	2後	2									1
	保健医療福祉行政論	2後	2					1				3
	保健統計学	1後	2									1
	医療と経済	4後	1									1
家族と社会	1後	1									1	
小計 (6科目)	—	5	4	0	0	0	1	0	0	0	8	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護の基礎	看護職への道Ⅰ	1前	1			1						
	看護学概論	1前	2			2	4					
	看護倫理	2後	1			1						
	看護管理とチームアプローチ	2前	1				1					
	ヘルスアセスメントⅠ	2前	1			1	2	3	4			
	ヘルスアセスメントⅡ	2後	1				2	1	4			
	情報と看護展開Ⅰ	2前	1			2	2					
	基礎看護援助技術Ⅰ	1後	2			2			2			
	基礎看護援助技術Ⅱ	2前	2			1			5			
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			4	5	4	8	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	1後	1			1			7	4		
	基礎看護学実習Ⅲ	2前	2			1			7	4		
小計(12科目)	—	16	0	0	4	7	7	8	4	0		
生涯発達と看護	成人・高齢者看護援助Ⅰ	3前	2				2	1	4			
	成人・高齢者看護援助Ⅱ	2後	3				2	1	4		2	
	小児看護援助	3前	2			1	1	2				
	母性看護援助	3前	2			2	1					
	精神看護援助	3前	2				1	1				
	情報と看護展開Ⅱ	2後	2			1	3	4	2			
	生涯発達における援助技術	3前	1			2	5	4	4			
	看護展開導入演習	3前	1			3	7	6	7			
	成人・高齢者看護学実習Ⅰ	3後	3				2	1	4	1		
	成人・高齢者看護学実習Ⅱ	3後	4				2	1	4	1		
	成人・高齢者看護学実習Ⅲ	3後	1				2	1	4	1		
	小児看護学実習	3後	2			1	1	2				
	母性看護学実習	3後	2			2	1				1	
	精神看護学実習	3後	2				1	1			3	
小計(14科目)	—	29	0	0	4	7	6	7	4	2		
コミュニケーションと看護	異文化と看護	2前	1				1					
	国際保健演習	4前	1				1					
	健康教育演習	2後	1				4	1	3			
	地域・在宅看護援助Ⅰ	3前	2					2	2			
	地域・在宅看護援助Ⅱ	3前	1					4	2			
	情報と看護展開Ⅲ	3前	1			1	4	5	2			
	地域・在宅援助技術	3前	1					2	2			
	地域・在宅看護学実習Ⅰ	3後	1					2	2	1		
	地域・在宅看護学実習Ⅱ	3後	2					2	2	1		
	公衆衛生看護学概論	2前	2									
	公衆衛生看護論	2後		2				1				
	公衆衛生看護管理論	4後	1					2			1	
	産業保健	3前	1								1	
	学校保健	2前	2					1				
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前	2				1	2	1	1			
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前	2				1	2	1	1			
養護概説	3前	2					1					
健康相談活動	4前	2					1					
小計(18科目)	—	13	14	0	1	7	7	5	3	2		
看護の統合と発展	地域包括ケア演習	4後	1			5	8	6			2	
	看護の質改善	4前	1				2	2				
	海外看護研修	3後		2			1					
	課題探究方法論	4前	1			1						
	看護課題の探究	4通	2			5	8	7	8			
	看護展開統合演習	4通	2			5	8	7	8			
	統合実習	4前	2			5	8	7	8			
	看護職への道Ⅱ	4後	1			1						
小計(8科目)	—	10	2	0	5	8	7	8	0	2		
教職関連科目	養護実習(事前事後指導を含む)	4通		5				1				
	教職実践演習(養護)	4後		2				1			1	
	小計(2科目)	—	0	7	0	0	0	1	0	0	1	
合計(174科目)	—	117	203	0	5	8	7	8	7	107		

卒業要件及び履修方法

卒業要件として、学部共通科目から必修科目20単位を含む計26単位以上(教養科目:必修科目2単位および6系の内3系にわたり6単位以上、語学科目:英語必修科目8単位、全学基本科目8単位、キャリア教育科目2単位、特別企画科目)、学科基礎科目から必修科目29単位を含む31単位以上(人間の身体と生命科学分野から1単位、人間のこころと行動科学分野から1単位選択必修)、学科専門科目から必修科目を含む68単位以上修得し、合計125単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

保健師国家試験受験資格取得のためには、卒業要件に加えて、指定する13単位を修得し、合計138単位以上修得すること。

養護教諭一種免許状取得のためには、卒業要件に加えて、指定する37単位を修得し、合計162単位以上修得すること。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- 語学教育の充実を目的とする全学的な英語教育プログラムの見直しにより、次の授業科目の配当年次を変更。
「上級英語Ⅲ」および「上級英語Ⅳ」…何れも「3・4前・後」→「1・2・3・4前・後」
- 教育効果の向上を図るため、次の授業科目の配当年次を変更。
「プロジェクトA」…「2・3・4通」→「1・2・3・4通」
「プロジェクトB」…「3・4通」→「2・3・4通」
「プロジェクトC」…「2・3・4前・後」→「1・2・3・4前・後」
「統計の基礎」…「1前」→「1後」
「疫学」…「2前」→「2後」
「ヘルスアセスメントⅡ」および「情報と看護展開Ⅱ」…何れも「3前」→「2後」
「成人・高齢者看護援助Ⅰ」「精神看護援助」および「地域・在宅看護援助Ⅰ」…「2後」→「3前」
- 語学教育の充実を目的とする全学的な英語教育プログラムの見直しにより、次の授業科目を担当する兼任・兼任の教員の数を変更。
「上級英語Ⅰ」…「兼任・兼任3」→「兼任・兼任4」
「上級英語Ⅱ」…「兼任・兼任4」→「兼任・兼任5」
「上級英語Ⅳ」…「兼任・兼任2」→「兼任・兼任3」
- 国際化の推進を目的とする海外研修プログラムの実施方法の見直しにより、次の授業科目を担当する兼任・兼任の教員の数を変更。
「海外研修A」「海外研修B」および「海外研修C」…何れも「兼任・兼任1」→「兼任・兼任11」
- 教育効果の向上を図るため、次の授業科目を担当する兼任・兼任の教員の数を変更。
「経済学」…「兼任・兼任3」→「兼任・兼任4」
「学びの技法Ⅰ」および「学びの技法Ⅱ」…何れも「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
「人体の構造と機能Ⅰ」…「兼任・兼任5」→「兼任・兼任8」
「人体の構造と機能Ⅱ」…「兼任・兼任7」→「兼任・兼任8」
「食物栄養演習」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
「感染と免疫」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任8」
「疾病と治療論Ⅳ」…「兼任・兼任2」→「兼任・兼任1」
- 既設学部とのクラス数および担当者の調整により、次の授業科目を担当する兼任・兼任の教員の数を変更。
「著作権と情報倫理」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
「創作文化演習」…「兼任・兼任2」→「兼任・兼任1」
「インターンシップ」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任4」
「プロジェクトC」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
- 専任教員の就任辞退により、次の授業科目の専任教員等の配置を変更。
「地域・在宅看護援助Ⅰ」…「教授1」→該当なし
「地域・在宅看護援助Ⅱ」…「教授1」→該当なし
「情報と看護展開Ⅲ」…「教授2」→「教授1」
「公衆衛生看護学概論」…「教授1」→該当なし
「公衆衛生看護管理論」…「教授1」→該当なし
「地域包括ケア演習」…「教授6」→「教授5」
「看護課題の探究」…「教授6」→「教授5」
「統合実習」…「教授6」→「教授5」

【令和元年度】

- 教育効果の向上を図るため、次の授業科目の配当年次を変更。
「キャリア演習Ⅱ」…「3前・後」→「2前・後」
- 既設学部とのクラス数および担当者の調整により、次の授業科目を担当する兼任・兼任の教員の数を変更。
「文学」…「兼任・兼任2」→「兼任・兼任3」
「心理学」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
「歴史学」…「兼任・兼任4」→「兼任・兼任3」
「経済学」…「兼任・兼任4」→「兼任・兼任2」
「文化論」…「兼任・兼任4」→「兼任・兼任2」
「物質とエネルギー」…「兼任・兼任2」→「兼任・兼任1」
「生活と化学」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
「生理学」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
「生命の科学」…「兼任・兼任2」→「兼任・兼任3」
「パズルと倫理」…「兼任・兼任2」→「兼任・兼任1」
「芸術鑑賞論」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任3」
「健康スポーツA」「健康スポーツB」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」…「兼任・兼任3」→「兼任・兼任2」
「上級英語Ⅰ」…「兼任・兼任4」→「兼任・兼任5」
「上級英語Ⅱ」…「兼任・兼任5」→「兼任・兼任3」
「上級英語Ⅲ」…「兼任・兼任3」→「兼任・兼任2」
「中国語Ⅰ・Ⅱ」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
「韓国・朝鮮語Ⅰ・Ⅱ」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
「インターンシップ」…「兼任・兼任4」→「兼任・兼任3」
「プロジェクトC」…「兼任・兼任2」→「兼任・兼任0」
「海外研修A」「海外研修B」「海外研修C」…「兼任・兼任11」→「兼任・兼任10」
- 担当者未定により、次の授業科目の兼任・兼任教員の数を変更。
「食と健康」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任0」（未開講）
「臨床栄養学」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任0」（調整中）
- 教育効果の向上を図るため、次の授業科目を担当する兼任・兼任の教員の数を変更。
「人体の構造と機能Ⅰ」「人体の構造と機能Ⅱ」…「兼任・兼任8」→「兼任・兼任1」
「感染と免疫」…「兼任・兼任8」→「兼任・兼任1」
「疾病と治療論Ⅱ」…「兼任・兼任4」→「兼任・兼任5」
「疾病と治療論Ⅲ」…「兼任・兼任4」→「兼任・兼任8」
「疾病と治療論Ⅳ」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
- 専任教員の就任および科目追加により、次の授業科目の専任教員の配置を変更。
「情報と看護展開Ⅱ」…「准教授3」→「准教授4」
「地域・在宅看護援助Ⅰ」「地域・在宅看護援助Ⅱ」…「教授0」→「教授1」
「情報と看護展開Ⅲ」…「教授1、准教授4」→「教授2、准教授5」
「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護管理論」…「教授0」→「教授1」
「地域包括ケア演習」「看護課題の探究」「統合実習」…「教授5」→「教授6」

(注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
73 科目	84 科目	17 科目	174 科目	73 科目 [0]	84 科目 [0]	17 科目 [0]	174 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	食と健康	2	1・2・3・4前・後	一般	選択	専任教員の辞任(後任未定)、次年度開講予定
2	情報化と社会	2	1・2・3・4前・後	一般	選択	担当者の総担当科目数等を考慮、次年度開講予定
3	プロジェクトC	2	1・2・3・4前・後	一般	選択	近年の履修希望者数の推移等を考慮、次年度開講予定
4	臨床栄養学	2	1	専門	必修	専任教員の辞任(後任未定)、今年度開講予定

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「臨床栄養学」を除くすべての未開講科目は、次年度に開講して履修機会を確保することとしている。「臨床栄養学」は令和元(2019)年度中に開講予定として後任者を選考中である。学生に対しては、ガイダンスや掲示等を通じて未開講となることを説明し、周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{174} = \boxed{2.29\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	常磐短期大学(必要面積4,800㎡)と共用(収容定員:480人)			
	校舎敷地	5,010.02㎡	67,555.62㎡	0㎡	72,565.64㎡	校地等全体 借用面積 44,391.44㎡			
	運動場用地	0㎡	17,503.00㎡	0㎡	17,503.00㎡	内訳 校舎敷地(見和キャンパス) 借用面積 21,878.42㎡ 借用期間 30年間他			
	小 計	5,010.02㎡	85,058.62㎡	0㎡	90,068.64㎡	校舎敷地(桜の郷キャンパス) 借用面積 5,010.02㎡ 借用期間 20年間			
	そ の 他	0㎡	5,497.81㎡	0㎡	5,491.81㎡	運動場敷地 借用面積 17,503.00㎡ 借用期間 20年間			
	合 計	5,010.02㎡	90,556.43㎡	0㎡	95,566.45㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	常磐短期大学(必要面積4,150㎡)と共用(収容定員:480人)				
	27,967.93㎡ (24,933.10㎡)	19,145.26㎡ (19,570.38㎡)	2,701.26㎡ (5,310.97㎡)	49,814.45㎡ (49,814.45㎡)	桜の郷看護学校(必要面積860㎡)と共用(収容定員:240名)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 (補助職員 4 人) (補助職員 1 人)			
	44室	56室	64室	8室	2室				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	看護学部 看護学科			29 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 386,011 [83,994] 389,921 [82,912] 327,000 [76,392] (373,421 [82,678]) (365,783 [82,171]) (316,922 [73,577]) 学術雑誌 14,668 [8,597] 14,689 [8,708] 12,455 [6,578] (14,614 [8,558]) (14,607 [8,657]) (12,411 [6,550]) 視聴覚資料 21,514 (20,786) 22,131 (21,157) 20,066 (19,681) 機 械 ・ 器 具2,421 桜の郷看護学校との共用(貸与)分 期間:平成30年4月~平成32年3月 機 械 ・ 器 具2,235 標本246	
	看護学部 看護学科	14,053 [1,730] 13,953 [1,728] 13,759 [1,644] (12,864 [1,441]) (12,100 [1,339]) (12,159 [1,359])	40 [9] 40 [9] 39 [9] (40 [9]) (30 [9]) (29 [9])	4 [3] 4 [3] 2 [2] 4 [3] 4 [3] 2 [2]	218 204 146 (168) (128) (126)	3,495 3,398 (2,730) (2,697)	417 415 (265) (246)		
	計	14,053 [1,730] 13,953 [1,728] 13,759 [1,644] (12,864 [1,441]) (12,100 [1,339]) (12,159 [1,359])	40 [9] 40 [9] 39 [9] (40 [9]) (30 [9]) (29 [9])	4 [3] 4 [3] 2 [2] 4 [3] 4 [3] 2 [2]	218 204 146 (168) (128) (126)	3,495 3,398 (2,730) (2,697)	417 415 (265) (246)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	4,729.19㎡	556		279,620冊					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体			
	3,563.21㎡ 3,803.88㎡	柔剣道場		弓道場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	9,700千円	8,963千円	10,571千円	
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	30,916千円	4,212千円	4,068千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,770千円	1,520千円	1,520千円	1,520千円	1,520千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、国庫補助金収入、受取利息・配当金収入、付随事業・収益事業収入、雑収入等により維持を図る。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		常 磐 大 学 大 学 院								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
人間科学研究科										
人間科学研究科博士課程(後期)	3	2	-	6	博士 (人間科学)	0.00	-	平成5	茨城県水戸市 見和一丁目 430番地の1	平成28年より定員減
人間科学専攻修士課程	2	10	-	20	修士 (人間科学)	0.55	-	平成元		
大学院全体		12		26		0.30				
大学の名称		常 磐 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
人間科学部		396		1,581	学士 (人間科学)	1.03	-	昭和58	茨城県水戸市 見和一丁目 430番地の1	平成31年4月3年次編入 学定員募集停止 5→0 平成31年4月3年次編入 学定員変更 2→4 平成31年4月3年次編入 学定員変更 1→2 平成31年4月3年次編入 学定員変更 1→2 平成31年4月3年次編入 学定員募集停止 4→0 平成31年4月3年次編入 学定員募集停止 4→0 平成31年4月3年次編入 学定員募集停止 4→0 平成29年学生募集停止 ※平成29年学生募集停止 (3年次編入学定員は平成31年 4月募集停止) ※平成29年学生募集停止 (3年次編入学定員は平成31年 4月募集停止) ※平成29年学生募集停止 (3年次編入学定員は平成31年 4月募集停止) ※平成29年学生募集停止 (3年次編入学定員は平成31年 4月募集停止) ※平成29年学生募集停止 (3年次編入学定員は平成31年 4月募集停止)
心理学科	4	90	-	365	学士 (人間科学)	1.03	-	平成20		
教育学科	4	66	3年次 4	244	学士 (人間科学)	1.16	-	平成20		
初等教育コース	4	50	3年次 2	183	学士 (人間科学)	1.06	-	平成26		
中等教育コース	4	16	3年次 2	61	学士 (人間科学)	1.48	-	平成26		
現代社会学科	4	90	-	354	学士 (人間科学)	1.19	-	平成16		
コミュニケーション学科	4	70	-	294	学士 (人間科学)	0.65	-	昭和58		
健康栄養学科	4	80	-	324	学士 (人間科学)	1.13	-	平成20		
総合政策学部		245	-	735	学士 (総合政策学)	0.97	-	平成29		
経営学科	4	85	-	255	学士 (総合政策学)	1.28	-	平成29		
法律行政学科	4	75	-	225	学士 (総合政策学)	0.77	-	平成29		
総合政策学科	4	85	-	255	学士 (総合政策学)	0.85	-	平成29		
国際学部		-	-	-	学士 (国際学)	-	-	平成8		
経営学科	4	-	-	-	学士 (国際学)	-	-	平成20		
英米語学科	4	-	-	-	学士 (国際学)	-	-	平成16		
コミュニティ振興学部		-	-	-	学士 (コミュニティ振興学)	-	-	平成12		
コミュニティ文化学科	4	-	-	-	学士 (コミュニティ振興学)	-	-	平成12		
地域政策学科	4	-	-	-	学士 (コミュニティ振興学)	-	-	平成18		
ヒューマンサービス学科	4	-	-	-	学士 (コミュニティ振興学)	-	-	平成12		
看護学部		80		160	学士 (看護学)	1.17	-	平成30		
看護学科	4	80		160	学士 (看護学)	1.17	-	平成30		
大学全体		721		2,476		1.01				
大学の名称		常 磐 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
キャリア教養学科	2	100	-	200	短期大学士 (キャリア教養学)	0.81	-	平成15	茨城県水戸市 見和一丁目 430番地の1	
幼児教育保育学科	2	140	-	280	短期大学士 (幼児教育保育学)	0.93	-	昭和43		
大学全体		240		480		0.88		昭和43		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成30年)	・ 講義、演習及び実習 全ての科目について、 成人と高齢者が同じ科 目で教育されることと なっているが、健康レ ベル別の看護だけでは なく、成人期及び老年 期の特徴やその時期に 必要な看護についての 内容も充実するよう努 めること。	留意事項 成人・高齢者関連の科目は 平成31年度より開講され る。(30)	履行中 成人と高齢者を同科目内で 教育することによる効果を 高められるよう、内容の精 査を進める。(30)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年)	特記事項なし。		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 実習施設の移転	① 一般社団法人茨城県水戸市医師会 訪問看護ステーションみと (申請時の住所) 茨城県水戸市河和田町107-6 (移転先の住所) 茨城県水戸市見川町2131-6 (元)
② 実習施設の名称変更および移転	② 笠間市保健衛生部健康増進課 友部保健センター (変更後の名称) 笠間市保健衛生部健康増進課 笠間市保健センター (申請時の住所) 茨城県笠間市美原3-2-11 (移転先の住所) 茨城県笠間市南友部1966-1「地域医療センターかさま」 (元)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 「常磐大学ファカルティ・ディベロップメント委員会」を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 2018年度は5回開催。 委員会はの構成員は14名(うち教員13名)である。構成員の内訳は次のとおり。 ・副学長(1名) ・各学部において各学科から選出された者(11名) ・総合講座委員会において委員のうちから選出された者(1名) ・学事センター統括【事務職員】(1名)</p> <p>c 委員会の審議事項等 ※「常磐大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」第3条 ・FD(ファカルティ・ディベロップメント、以下同じ)に関する研究活動 ・FD推進のための企画および実施に関すること ・FDに関する報告書等の作成に関すること ・その他FDの推進に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 b 実施方法 および c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>1) 授業アンケート 学生を対象に、授業の内容、教員や学生自身の授業に対する姿勢・取り組み、到達度等に関するアンケート調査を実施。2018年度の実施状況等は次項③参照。</p> <p>2) FDフォーラム 教職員を対象に、本学教員による講演や事例報告からなる集会を開催。2018年度は「新学習指導要領と大学入試改革」をテーマとして開催し、113名(専任教員58名[全体の約46%]、併設短期大学の専任教員4名および事務職員等51名)が参加。(開催日:2019年3月6日)</p> <p>3) 新任教員研修 新任教員を対象に、着任後直ちに必要となる業務に関するオリエンテーション等を実施。2018年度はFD委員2名および新任教員12名が参加。(実施日:2019年3月27日)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>1) 授業アンケート 次項③参照。</p> <p>2) FDフォーラム フォーラムを通じて得た知見や情報を活用して、各教員が授業の充実や改善に取り組んでいる。2018年度は、今後本学へ入学する学生がどのような教育を受けて大学のスタート地点に立つのか、そして2020年度以降の大学入試改革に向けて本学にどのような取組みが求められるのか等について共通理解をはかるとともに、授業への活用に資する情報の共有等に取り組んだ。</p>

3) 新任教員研修

新任教員が本学における業務をスムーズに遂行できるよう、現在は学内諸業務への円滑な導入に重点を置いた内容となっている。今後は授業改善の視点も加えながら運営の充実や改善に取り組む必要がある。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施の有無：有／実施時期：春セメスターまたは秋セメスターの期末（年1回）

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業科目ごとの評価結果を授業担当教員にフィードバックするとともに、集計結果をまとめた「報告書」を作成し学内で閲覧できるようにしている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学部設置の目的は、看護学の専門的知識と実践力を有し、保健・医療・福祉・教育等の場において、人々の健康な生活の保持増進に関わり、広く社会に貢献できる看護系人材を養成することである。

開設2年目となる2019（令和元）年度においても、学部および学科のアドミッションポリシーに基づき、事前に計画した入学者選抜方法により入試を実施し、入学生を迎え入れた。前年度（開設年度）に続き入学定員を超える学生を確保することができたので、学生確保という点において目的は達成できている。

今後も設置計画に基づいて確実に教育課程を実施するとともに、学科の特色の周知等をはじめとする広報活動についても一層の推進を図る。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年5月1日までに公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、関係諸機関、役員および教職員等に配付予定

・本学ホームページ上（<http://www.tokiwa.ac.jp/tokiwa/report/index.html>）に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

令和5年度までに評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。なお、本学は、平成28（2016）年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審した。評価の結果、本学は同協会の大学基準に適合していると認定された。認定の期間は令和6（2024）年3月31日までとなる。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元 年 7 月 1 日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注） ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。